

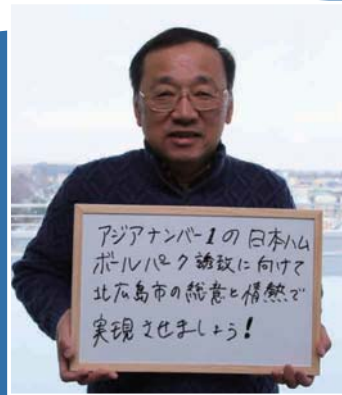
特集

# ボールパークを北広島に

—北海道日本ハムファイターズと共に描くまちづくり—



問合せ まちづくり担当  
(☎372-3311・内線3608)



ボールパーク (BP)  
誘致の軌跡

平成28年

5月

23日 北海道日本ハムファイターズが本拠地移転を検討、また北広島が移転候補地となっていることが報道される

6月

14日 上野市長がBP誘致を正式に表明



8月

4日 北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致期成会設立  
総会

6・7日 第39回北広島ふるさと祭り  
祭りで、期成会賛同者メッセージを募集

9月

4日 元気フェスティバル2016で、期成会賛同者メッセージを募集

19日 ファイターズ応援ツアー

## なぜ北広島が候補地に？

平成28年6月、市は北海道日本ハムファイターズボールパーク（以下B/P）誘致を正式に表明しました。

候補地は、共栄に位置するきたひろしま総合運動公園予定地です。以前から整備の必要性について指摘されていましたが、財政面での問題などから、整備手法に関する検討調査が行われたのは平成27年でした。「総合運動公園に野球場を作るのなら、プロも使えるものにした」という思いから、市担当者がファイターズの球団事務所に足を運び、プロが求める野球場について調査を実施。その後、ファイターズが独自の野球場を持つことを検討していることが分かり、総合運動公園予定地にファイターズのB/Pを誘致する計画が少しずつ動き始めました。



## そもそもB/Pって？

野球場を試合をするだけのスタジアムと捉えるのではなく、野球に興味がない人でも楽しめる空間づくりを目指すのがB/Pという考え方です。球団が本拠地をB/Pにすることにより、観戦以外の楽しみが生まれ、その結果ファン拡大につながります。

B/Pは野球の本場、アメリカのメジャーリーグが発祥です。メジャー30球団のうち、本拠地球場に「スタジアム」と付くものは5球団。それ以外は「○○パーク」や「○○フィールド」と名付けられており、B/Pが現在の主流であることが分かります。

商業施設や宿泊施設だけではなく、水族館やプール、遊園地などを併設しているものもあり、野球を見なくても一日中楽しめるような行楽地として人々に親しまれています。

## 市が誘致を表明した理由

市は、目指す都市像として「希望都市」「交流都市」「成長都市」の3つを掲げています。

一方、ファイターズの企業理念は「スポーツコミュニティ」。スポーツを通じたまちづくりを行うことで

人々の健康に貢献し、交流の創出をもたらし、健康を目標とするものです。

市がB/P誘致を表明したのは、まちの誇りや生きがい、新たな人の流れやスポーツ産業・文化の発展をもたらす、目指す都市像の実現に貢献すると考えたから。また、この都市像がファイターズの企業理念と合致すると考えたからです。



### 市が提案したB/Pコンセプト

希望をつむぐ・人がつどう・未来へつなぐ

#### 基本理念

北海道のランドマークとしてのB/P  
スポーツコミュニティの共創

#### 併設される施設（構想）

商業施設・宿泊施設・キャンプ場など



### ファイターズが公表したB/Pコンセプト

北海道のシンボルとなる空間を創造する  
アジアナンバーワンのB/P

#### 企業理念

スポーツコミュニティ

10月

26日 エルフィンパークで日本シリーズパブリックビューイング

12月

16日 ファイターズ選手トークショー

19日 日本ハム株式会社・北海道日本ハムファイターズが、新球場構想に関して発表

20日 期成会賛同者メッセージと提案書をファイターズに提出



平成29年

1月

18日 ファイターズとの第1回実務者協議

2月

1日 第2回実務者協議  
27日 第3回実務者協議

3月

28日 第4回実務者協議

4月

25日 第5回実務者協議

5月

16日 第6回実務者協議



平成28年8月4日 誘致期成会設立総会

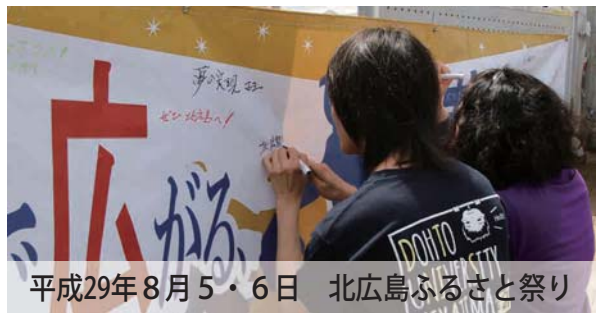


平成28年10月26日 パブリックビューイング

## 市民のみなさんと歩んだ 誘致活動の記録



平成28年9月19日 ファイターズ応援ツアー



平成29年8月5・6日 北広島ふるさと祭り

### 誘致活動から波及し、 新たな取り組みが誕生

平成28年8月4日の誘致期成会設立総会を皮切りに、ファイターズ応援ツアーやパブリックビューイング、ふるさと祭りでの誘致活動PRなど、市民と一体となって盛り上げてきた誘致活動。この活動をきっかけに、今年1月15日、市とファイターズはパートナー協定を締結しました。

協定に関する取り組みは北広島でBP構想が実現しなくても行います。市はより良いまちづくりを、ファイターズは「スポーツコミュニティー」の実現を共に目指していきます。

具体的な取り組みとしては、2月17日に開催する「スポーツコミュニティin北広島市」や、毎年6月下旬に開催している「きたひろしま30kmロードレース」と連動したイベント、小・中学校でのキャリア教育や体育授業に関連した活動などを予定しています。

協定の期間は一年間。一年後に地域課題を見直し、それに応じて取り組みの内容を更新します。この協定が、市のまちづくりによどのような変化をもたらすのか、期待が高まります。

(3ページから続く)

6月

7日 第7回実務者協議

7月

28日 第8回実務者協議

7月

21日 第9回実務者協議

8月

5・6日 第40回北広島ふるさと祭りで誘致活動をPR



9月

29日 第11回実務者協議

10月

25日 第12回実務者協議

11月

24日 第13回実務者協議

12月

15日 ファイターズ選手トークショー

22日

第14回実務者協議



## BPの気になるあれこれ



BPに関する整備で、まちの財政は大丈夫？

将来に渡って過度な負担とならないように、整備を行っていきます。

また、BPの整備により、現在の市の施策や事業が後回しになるということはありません。



交通アクセスや、渋滞への対策は？

既存道路の拡幅や、新設道路の必要性について調査し、検証を進めていきます。

総合運動公園予定地周辺に住む方の生活に極力支障が出ないように、対策を検討します。



自然環境への配慮は？

総合運動公園予定地の約3分の1は林地です。できる限り自然を活用した施設になるよう、ファイターズと協議していきます。

## 地域住民も期待しています



共栄町内会会長  
阿部勝義さん

誘致活動が始まった平成28年には、たくさんの町内会員が誘致に賛成し、署名に協力しました。息子2人が野球をやっていたこともあり、私も家族もぜひ来てほしいと願っています。北広島がより楽しいまちになることを期待しています。交通渋滞や違法駐車などへの不安の声も聞こえてきます。BP構想が実現したら、近隣の安全対策などを十分に進めてほしいです。

## みんなで楽しめるBPを



北広島ファイターズ  
クラブ  
福田結花さん

昨年、ファイターズの応援で、国内のBPである楽天生命パーク宮城に行きました。野球場に遊園地などが併設されていて、大人から子どもまで楽しめる環境に魅力を感じました。職場の幼稚園でもBPのことは話題になります。北広島にBPができることで、子どもたちの体を動かす機会が増えたり、雇用が増え、まちに若者が集まると良いなと思います。

## 新しい北広島・新しい北海道の未来のために



北広島市長(誘致期成会会長)  
上野正三

これまでファイターズとは15回の実務者協議を行い、BP構想実現に向けた課題や検討すべき事項、BPを核としたまちづくりについて認識の共有を図ってまいりました。

アジアナンバーワンのBPを目指すこの構想の実現により、市が掲げる目指す都市像の実現に大きく寄与するとともに、北海道のランドマークとして、新しい北広島・新しい北海道を未来へつなぐことができるものと考えております。

北広島には、夢をかなえる資源があります。優れた交通アクセス、広大な敷地、北海道を丸ごと体感できる豊かな自然、そして地元の熱意。市民の皆さんと一丸となって、未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、共にまちの歴史を作るべく、BP構想実現に向けて全力投球で取り組んでまいります。

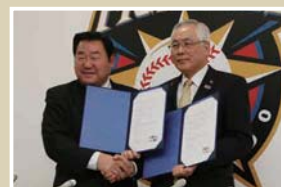
平成30年

1月

15日 パートナー

協定締結・第15回

実務者協議



2月(予定)

3日 BP構想シンポジウム

15日 第16回実務者協議

17日 スポーツコミュニティin北広島市

### 夢のあるまちづくりを

BP誘致活動が始まってから、約1年9カ月がたちました。誘致活動をここまで進めることができたのは、市民の皆さんの理解と協力、熱い応援があったからです。

市とファイターズが描く夢は、10年後・20年後の北海道や子どもたちの未来を見据えています。

ファイターズは3月にBP構想の方向性を出すとしています。その結果に関わらず、市はこれからも大志を抱き、夢のあるまちづくりを進めていきます。